

# 株式会社リバイタライズ

## 2021 年度 環境活動レポート

(対象期間： 2021年 8 月 1 日～2022年7月31日 )



価値ある廃棄物に生命を与える

発行日： 2022年10月4日

□ごあいさつ

弊社は平成21年11月創業と日は浅く  
まだまだ若い企業ですが基本理念をもとに  
精一杯の努力をしていく所存でございます。

これからも  
「初心・原点」「発想・信念」「感謝・反省」「共有化」  
を社訓とし躍進して参りますので  
今後とも宜しくご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

株式会社リバイタライズ  
代表取締役 大和 孝

## 環境方針

### <基本理念>

株式会社リバイタライズは、「価値ある廃棄物に生命を与える」という企業理念のもとに廃棄＝不必要・処分という概念をなくし価値を見出す方法を考え提案していくよう努め、物を生かし再利用をはかる活動を行い環境保全の手助けとなる企業作りを推進します併せて自社における環境負荷削減等環境保全活動を継続維持推進します。

### <基本方針>

1. 受託廃棄物の再資源化及び有効利用に取り組めます。
2. エネルギーの効率化、事業活動に伴う廃棄物・排水・CO2の削減に努めます。
3. 環境改善の為に今出来る事を経営者及び社員一同日々考えます。
4. 環境の保護に努め将来により良い環境を残します。
5. 環境関連法規を厳守します。
6. この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

制定日： 2011年 2月5日  
改定日： 2011年10月8日  
株式会社リバイタライズ  
代表取締役 大和 孝

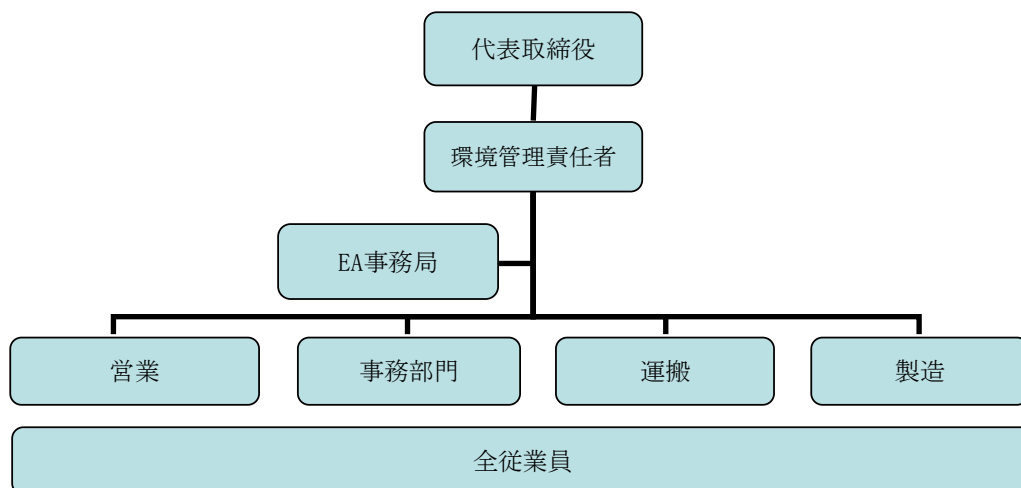
## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社リバイタライズ  
代表取締役 大和 孝
- (2) 所在地  
〒571-0015 大阪府門真市三ツ島5丁目8番44号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 大和 孝 代表取締役  
担当者 北岡 智  
TEL 072-883-5810  
FAX 072-883-0939  
E-mail post@rev-rev.co.jp  
H. P. <https://www.rev-rev.co.jp>
- (4) 事業内容  
産業廃棄物の収集運搬  
使用済み溶剤の再資源化業務  
各種溶剤の新液・再生品販売  
溶剤タンク等の清掃作業
- (5) 事業の規模  
法人設立年月日 2009年11月18日  
資本金 300万円  
総売上額 36,085万円(2021年度)  
従業員 7名  
延べ床面積 276㎡  
保有する車両 乗用車 3台  
4tトラック 1台  
3tトラック 1台  
フォークリフト 1台
- (6) 事業年度 8月～7月

## □認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 株式会社リバイタライズ  
対象外： なし  
活動： 産業廃棄物の収集運搬  
使用済み溶剤の再資源化業務  
各種溶剤の新液・再生品販売  
溶剤タンク等の清掃作業

□組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> <li>・従業員に対する教育訓練の実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> <li>・環境方針の周知</li> <li>・環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□許可一覧

産業廃棄物収集運搬許可

府縣市名	許可年月日	廃棄物の種類	有効年月日	許可番号
大阪府	R2. 2. 16	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R7. 2. 16	第02700152710号
兵庫県	R2. 3. 23	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R7. 3. 22	第02803152710号
京都府	R2. 3. 29	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R7. 3. 28	第02600152710号
滋賀県	R2. 2. 2	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑・鉍さい	R7. 2. 1	第02501152710号
奈良県	R3. 5. 2	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R8. 5. 1	第02900152710号
福井県	R3. 7. 5	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R8. 7. 4	第 1807152710号

特別管理産業廃棄物収集運搬許可

府縣市名	許可年月日	廃棄物の種類	有効年月日	許可番号
大阪府	R2. 2. 17	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R7. 2. 16	第02750152710号
兵庫県	R2. 3. 23	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R7. 3. 22	第02853152710号
京都府	R2. 3. 29	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R7. 3. 8	第02650152710号
滋賀県	R2. 2. 2	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R7. 2. 1	第02551152710号
奈良県	R3. 5. 2	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R8. 5. 1	第02950152710号
福井県	R3. 7. 5	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R8. 7. 4	第 1857152710号

産業廃棄物処理実績（期間：8月1日～7月31日）

収集運搬実績	単位	2019年	2020年	2021年
産業廃棄物運搬実績	k g	339, 334	367, 438	381, 358

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	33,559	32,983	33,715
廃棄物排出量計	kg	10,064	8,615	12,892
一般廃棄物量排出量	kg	164	165	192
産業廃棄物排出量	kg	12,420	8,450	12,700
総排水量	m <sup>3</sup>	60	61	68

※1二酸化炭素排出量には、都市ガス分が含まれています。

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.531 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (関西電力 2014年度 実排出係数)

## □環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準度)	2021年		2022年 (目標)	2023年 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	5,030	4,728	5,275	4,678	4,350
	基準年比	2010年	94%	112%	93%	92%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	km/L	13.0	13.1	16.3	13.1	13.3
	基準年比	2014年	101%	124%	101%	101%
	Kg-CO <sub>2</sub>	10,944	—	7,559	—	—
軽油の二酸化炭素排出量削減	km/L	5.0	5.1	6.4	5.1	5.1
	基準年比	2014年	101%	127%	101%	101%
	Kg-CO <sub>2</sub>	22,294	—	20,692	—	—
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	38,268	—	33,526	—	—
一般廃棄物の削減	kg	372	346	192	342	315
	基準年比	2010年	93%	52%	92%	91%
節水	m <sup>3</sup>	57	53	68	52	48
	基準年比	2010年	93%	119%	92%	91%
リサイクル提案件数	件/年	12	17	15	18	19
社会貢献 会社周辺の清掃 (1回/月)	回/月	12回/年	12	12	12	12

\*化学物質(フロン類)は受託した廃液に含有されているものを使用し、蒸留再生し商品化するものであり削減取組は実施しない。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままだきた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>			
環境目標	△	継続	
・不要照明の消灯	◎	継続	業務量に応じて電力使用量は変動するが、目標達成手段を着実に励行し、無駄な電力消費を避けるようにする。
・冷暖房の温度調節	△	強化	
・待機電力の削減	○	継続	
<b>ガソリンの二酸化炭素削減</b>			
環境目標	○	継続	
・フォークリフトの効率活用	◎	継続	エコドライブが身についてきている。いつも急発進や急加速をしない運転を心がけていきたい。 燃費向上のために穏やかな運転をする。
・こまめなシフトチェンジ	○	継続	
・アイドリングストップ	○	継続	
・エアコンの温度設定	△	強化	
<b>軽油の二酸化炭素削減</b>			
環境目標	○	継続	
・配送ルート効率活用	◎	継続	今後も燃費向上を心掛け、安定した運転動作を行いたい。安定して走行できるルートを走行前に把握し、安全運転とエコドライブを心がける。
・こまめなシフトチェンジ	○	継続	
・アイドリングストップ	○	継続	
・エアコンの温度設定	△	強化	
<b>一般廃棄物の削減</b>			
環境目標	◎	継続	
・分別の徹底	◎	継続	サンプル用梱包材として再利用出来ない大きいダンボールはリサイクル業者へ引き取ってもらい、ダンボールの廃棄量がゼロとなった。 今年度もペットボトルはスーパーに提供する。凡事を徹底し、リデュース、リユース、リサイクルを考える。
・裏紙の使用の徹底	○	継続	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	継続	
・アルミ缶、スチール缶の分別	○	継続	
・小さいダンボールは梱包材として再利用	○	継続	
・大きいダンボールはリサイクル業者へ持込み	○	新規	
・空ペットボトルをリサイクル回収	○	継続	
<b>節水</b>			
環境目標	△	継続	
・蒸留装置の雨水利用	○	継続	蒸留が多いため目標達成は未達となっている。節水手順は順守して使用水量の削減に努めていきたい。 今後は、現在の目標を変更せずに、節水に取り組んでいく。
<b>事務用品のグリーン購入</b>			
環境目標	—	品目調査	
・対象品目の調査	○	継続	グリーン購入品目にあるものは積極的に購入する。
<b>リサイクル提案件数</b>			
環境目標	×	継続	
・営業を通じて提案	×	継続	当社の知見をもとに提案活動を行っていく
<b>社会貢献</b>			
環境目標	○	継続	
・会社周辺清掃活動	○	継続	継続して活動していく。

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**  
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬（廃油、廃プラ等）	○
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫	廃棄無し
資源有効利用促進法	パソコン	廃棄無し
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック	廃棄無し
自動車NOx・PM法	トラック	○
下水道法	2013年5月 放流開始(使用開始届出)	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されています。  
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去5年間ありませんでした。  
 また、近隣からの苦情もありません。

**□代表者による全体の評価と見直し・指示**

代表者の見直し実施日： 2022年9月22日

昨年に引き続き取組の成果が出ている。△については早めに対応していくようにする。  
 サステナビリティを意識した経営活動を今後も邁進していく。  
 CO2排出抑制や、環境負荷低減に努めていく。当社の取り組みを着実に進めていく。

- ・環境方針の見直し ⇒ 無し
- ・環境目標・計画の見直し ⇒ 無し
- ・実施体制その他の見直し ⇒ 無し

**□会社内の環境活動**

窓廻りの断熱性向上によって、建物全体の空調負荷を抑制した。  
 前期の報告書を紙からメール等に切り替えに引き続き、社内での紙の使用量を削減を別の書類等にも増やし、ペーパーレス化をさらに図った。